

第5回 市民参加部会作業スケジュール

		令和4年度										令和5年度				
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
会議日程	部会開催日			8月25日	9月8日	9月22日 全体会	10月13日		11月10日		12月8日		1月12日	1月22日		
	運営協議会開催日															
1. センターイメージチェンジ事業				事業内容検討												
2. 発信力向上事業				事業内容検討		修正提案に基づいて実現可能な事業から、										
3. 市民交流参加事業				事業内容検討		順次実施してゆく検討する。										
						次年度に実施する事業の準備を始める										

「今回の検討課題」	「前回の検討結果」
<p>1 議題</p> <p>議題1 前回部会での議論を踏まえ、全体会提出用の今年度実施事業内容と実施スケジュールを制作する</p> <p>議題2 前回部会の議論を踏まえ、イメチェン事業提案書(南山委員)と市民交流事業(依田委員)について、全体会での報告用資料について検討する。</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業(南山委員)</p> <p>2. 市民交流事業(依田委員)</p> <p>議題3 次年度実施事業の準備スケジュールについて</p> <p>発信力向上事業(海老田委員)については全体会後に広報部会と協議する予定。柴田委員が中心的に担当していただき市民交流事業については次年度の実施企画を検討する。</p>	<p>第5回検討結果要約 <議事概要></p> <p>1. 今回の部会では12月22日に行われる全体を目指して、今年度で実施する事業の具体的な提案書について検討することを確認した。</p> <p>2. センターイメージチェンジ事業(南山委員)</p> <p>資料2. センターイメージチェンジ事業ご提案書に基づいて南山委員から説明していただいた。今年度は“船橋のここがイイね!”のようなポジティブなメッセージを発信する“場”としての“WISH TREE”の制作を行う。可動式のボードを利用して12月の部会と全体会の間で制作日を入れて試作し、そこで撮影した写真などをベースに全体会で企画の提案を行ったうえで、1月13日からの市民活動フェアの開催に合わせて、市民活動サポートセンター内に設置するという日程で実施することとなった。できるだけ幅広い一般の人にとって関わりやすく、使いやすい場所にするための企画を検討することとなった。</p> <p>3. 発信力向上事業(海老田委員)</p> <p>資料4. 発信力向上事業ご提案書に基づいて海老田委員から説明していただいた。市民協働課から、SNSの活用については広報部会で検討が進んでいることが報告され、本事業については広報部会との連携が必要であることから、一旦こちらの部会での検討は中断し、協議会の全体としての事業として進めることとなった。</p> <p>4. 市民交流参加事業について</p> <p>4-1. 早稲田大学教授 向後千春先生による対話形式 講演会</p> <p>資料に基づき、依田委員から説明していただいた。前回委員会で講演会概要は固まっていることから、今回はPRチラシの記載内容を中心に検討した。できるだけ多くの一般の方にも興味を持って参加していただけるようなチラシを目指して検討を行った。最終的な紙面の修正はサポートセンターの原口さんをお願いすることとなった。また富沢さんから現在編集中の“しみんりょく”12月1日号に本企画の記事が掲載予定であることがされることが報告された。</p> <p>4-2. 市民/中小事業者向け理解度向上研修の提案</p> <p>資料に基づき、柴田委員から説明していただいた。</p> <p>これらの議論に基づいて、次年度の市民交流参加事業のスケジュール感として2か月に1回、年に6回程度の交流会を行うことを検討することとなった。</p> <p>交流会の内訳</p> <p>1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回</p> <p>2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回</p> <p>3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会 × 2回</p>

全体会での報告内容

初回、2回目の市民参加部会で各委員の意見や考えを披露し、当初3つの事業を提案することを予定していた。3回目の部会で具体的な提案書を作成する過程で、2つの事業に集約することとなった。

■発信力向上事業：(詳細は別紙提案書参照)

①双方向性の実現→窓や壁を利用したインタラクティブアートの構築。

②1歩目の導線策定→船橋セレクションの入り口設置。

③快適性の確保→キッズスペースを配置。

④発信機能の構築→SNSアカウントの開設、SNSコンテストの開催、ロッカーの活用。

■市民交流事業：(詳細は別紙提案書参照)

①交流サロンの実施→センターにて交流サロンを実施。市民と団体をつなぐ場所をステージとして構築。マッチング会、パフォーマンス等、1月の市民活動フェアとの連動を検討する。

収容人数、スペース、備品、音の問題が発生する点などについて今後詳細を検討する。

②市民の声実現の場の提供→発信力向上事業との連動実施を検討する

③外部専門家の講演・ワークショップ→座学だけでなく啓発交流の場を構築する。専門家のみならず南山委員等、市民団体とも連動し、幅広いワークショップならびに①のセミナーへと繋げる。

第4回検討結果要約

1. 第4回市民参加部会作業スケジュールにて前回全体会および部会での議事内容を確認した。今回の部会では3つの提案を部会として再検討し、協議会全体に発信する資料の作成を行った。

2. 市民交流参加事業について(依田)

資料2. 市民交流事業に基づき企画の概要について依田委員から説明していただいた。今年度については市民活動フェアの期間中、1月21日(土) or 22日(日)の午後14:00-16:00の時間帯で一般市民向けの講座として開講し、市民活動サポートセンターを会場として行うこととなった。今年度の交流会で得られるKnow Howをベースに、来年度については交流会の定期開催とワークショップ企画の実施について検討する。

船橋市社会福祉協議会：佐々木さん

登録団体の多くは福祉系の団体だが、芸能関係の団体もあり、そうした芸芸の発表の場や地元の伝統・芸能を発表できる講座などがあると協力できると思う。

3. センターイメージチェンジ事業(南山委員)

資料3. センターイメージチェンジ事業に基づき企画の概要について南山委員から説明していただいた。課題と目標設定を明確にして具体的な対策について検討した。具体的な企画として市民参加型の意見掲示板、“wish tree”の展示について準備を行うことになった。各地の類似企画についても調査して、できる所から形にしてゆく方向で準備を進めることとなった。

入りやすい雰囲気づくりとして、船橋セレクションの実物を展示するディスプレイなどについても検討することとなった。

ユニバーサル化事業については次年度以降も検討を継続することとなった。

4. 発信力向上事業(海老田委員)

資料4. 発信力向上事業に基づき企画の概要について海老田委員から説明していただいた。

センター自体の情報発信媒体としてFBやtwitterのアカウント開設について、継続検討することとなった。協議会全体としてのアカウント開設が困難な場合には行政からは独立したプロジェクトのような形をとってそちらでアカウントを開設することなどについても検討することとなった。また既存の市民活動サポートセンターのイメージキャラクター“アットワン”、“アットニャン”の活用についても検討する。

社会教育課：

公民館としてFBのアカウントを持っています。また、東邦大学との共同事業“フナっこ未来大学”としてSNSを活用しています。行政か